ほなみ通信

第91号

2020年11月16日 社会福祉法人

坂井輪会

発行元 〒950-2035 新潟県新潟市西区新通4734 TEL 025-269-1600 FAX 025-269-1571



一新たな取り組み日常をとりもどす



追悼 吉田三男先生を偲んで



お読みいただければと思います より抜粋して掲載いたしましたの りましたのでご紹介いたします。 す。理事長より追悼文の寄稿があ 心よりご冥福をお祈り申し上げま (享年91歳) ご逝去されました。 だいた吉田三男先生が、 任され多方面にわたりご尽力いた 「穂波の会」事務局長、 「地域にひらかれた特別養護老 在りし日のお姿を偲びながら での閉会のあいさつを報告集 『穂波の里 20周年記念の集 ムをつくる会」の事務局長、 会長を歴 4月19日

社会福祉法人 坂井輪会 理事長 上杉

ざいました。 吉田先生、 本当にありがとうご あさ子

ます ティアさん、地域の皆さんに支えこのような支えで今日、ボラン数え上げればきりがありません。 られた穂波の里が存在して るボランティアさんの送迎、等々また、シーツ交換等にきてくださ の中、 ら知人、 居酒屋を開いたり、 と、心を尽くしてくださいました。 を軌道に乗せることで手いっぱい いました。 から手の出る」ほど訴えてくださ 走してくださいました。 語れません。「つくる会」(略称) の事務局長として、 穂波の里の歴史は先生ぬきには 入居者の皆さんのために、 ありとあらゆる人に「喉 開設後は、 盆踊りの開催 一坪運動に奔 職員は運営 教え子か

としたものです。 「いいよ」と言っていただきホッ ショー と恐る恐るおたずねしたところ サ た。「先生居心地はいかがですか」 晩年、 ビスを利用していただき、 トも使っていただきま 先生には穂波の里の在宅

守ってください。 先生、これからも天国から見

穂波の里20周年記念の集い

〈閉会のことば〉

申し上げます。 前ででています。 吉田三男でございます。

ました。 いまして本当にありがとうございんからお祝いにかけつけてくださ 今日は地域をあげて大勢の皆さ

手)。テープでよべ、す。ちょつと立つてくださいようしたこしゃい とをもう少しお話ししなければな の歌姫 原さんがいらっしゃいま らなかったのですが盆踊りのとき さっきから私、 テープでながすのではなく 盆踊り大会のこ 拍





閉会のことばを 昔の名 めったにないと思います。 うのは日本広しといえどもそういます。この生演奏の盆踊りとい

ます。 ましたように二十年の歩みからいさて木戸先生のお話しにもあり 十四名も二十年勤続の職員がいる いくことになりますが、私はもう よいよ第三ステージの方へ向って ださいまして盆踊りをやっており まして、そして地域の皆さんがわ歌声に合わせて車イスの輪ができ と思います。原さんや長沢さんの里が象徴されているのではないか ざわざ浴衣を着て集まってきてく この盆踊りに、 心からお礼を申し上げます。 いみじくも穂波の

寄せております。(中略) ありがとうございました。 皆さん穂波の里は永遠です。

ていく、ここに私は大きな信頼を 員の皆さんが穂波の里を発展させ ております。これからは、この職 ということにすごく勇気づけられ



道場山穂波の里

オンラインの有効活用

る状況となっています。 始めたパソコンやタブレットを ことが難しく、 との関りをこれまでのように行う も軒並み中止になるなど、 り行うこともできず、 使ったオンラインの取り組みを紹 において道場山穂波の里で新たに という名目で家族の面会もゆっく 点で世界の死者数は百万人を超え に終息のめどは立たず9月末の時 めて半年が過ぎましたが、 している状況です。そのような中 します コロナウイルス感染が流行し始 現場としても苦慮 皆川 職員の研修 感染防止 人と人 いまだ 直史

月からは新潟市の補助金も活用 関で短時間であれば面会を行える 端末を使って家族の方にも、 ることとなりました。タブレット たりしていました。 が可能な方は直接話をしてもらっ 特に感染流行地の家族におきまし ようになっています。 まず家族の面会についてです オンラインでの面会を実施す 現在は感染予防対策を取り玄 面会をお断りしており電話 そんな中で9 しかし県外

> えています。 族は多くありませんが、 なこともできるんですか」などと 者の方も「元気そうだね」「こん 顔を見ながらお話ししてもらい れない中ですが画面に映る家族の になりました。 面を見ながら話してもらえるよう 電話アプリ『Zoom』を入れて には今後もお勧めしていこうと考 喜ばれていました(表紙写 不思議そうではありましたが入居 もらい、テレビ電話として直接画 コンやスマ まだあまり希望される家 トホンなどでテレビ お互いに操作が慣 遠方の方

次にオンライン研修について紹 します。 援助の質を高めるため



真下)。 らいました。机におむつを広げそし、紙おむつ会社の方に答えても 普段疑問に感じていること等をパ かったと思います。 になった、 思います。 き有意義な研修会が行えたように えながら、 れをパソコンのカメラで相手に伝 ソコンのカメラに向かって質問 ら研修を受けました。 ンに映して、 社の方の説明を会議室のスクリー 『Zoom』を使用し、 実施しました。 のような方法でオンライン研修を あったため、 に本社がある紙おむつ会社の方で 方研修」 オンラインによる「おむつの当て 会議において介護技術研修として 行っていますが、9月16日の職員にも日々の会議などで職員研修を いる排泄介助において今後の参考 講師が感染流行地の東京 を行いました(表紙写 より具体的な質問がで と意見もありとてもよ 職員からも普段行って 職員はそれを見なが いわゆるテレビ電話 面会の時と同じ 職員からも おむつ会

今後も様々な対策を実践していき たいと思います。 ていますが、 い限りこの様なオンラインを活用 した取り組みが増えていくと考え コロナウイルス感染が終息しな 有効に活用しながら

祭り気分を満喫 太鼓の演奏で



地域包括支援センター坂井輪

介護予防のための 新たな活動様式を模索

染防止策を徹底した上で、介護予 きることをやろうと準備をすすめ 齢者の要望に応えられるよう今で 防体操の再開を前向きに考え、高 のではと危機感を覚えました。 介護が必要となる高齢者が増える 物忘れが進み、うつ状態となる等 感染は防げても、身体機能が衰え、 のままでは新型コロナウイルスの 者とかかわりの深い私たちは、こ なりました。日頃から地域の高齢 等という声が多く聞かれるように うだ」「一日誰とも話をしない」 けなくなった」「うつ病になりそ わたり「歩いて通っていた方が歩 きなみ休止となり、 地域では比較的元気な高齢者が楽 しみにしておられた活動の場がの 感染拡大防止のためとはいえ、 それも長期に 感

ら、

い介護予防体操等の集まりの約9 末現在で包括としてかかわりの深 句より徐々に活動を再開. 緊急事態宣言解除後の 6月中 10月

> これまで全く体操の機会がなかっ とらえています。 た方が月2回はできると肯定的に 方も多くおられます。 再開後は隔週でしか参加できな! 前の半数に抑えておりますので のすべてが、 1回の参加人数を以 それでも、

がら、 努め 解ご協力をいただきながら取り組やっていただくなど参加者のご理 動や県外者との接触等の把握にも 用物品の消毒、 クは当然のことながら、椅子等使換気、手指消毒や検温、体調チェッ んでいます。 また、 参加者自ら椅子の消毒等を 新たな活動様式を模索しな 加えて県外への移 椅子等使

自身感染を恐れてばかりいてはいふれるパワーを頼もしく感じ、私けたと伺いました。その行動力あ 自治会長に直談判し許可を取りつい手の中心となる4名の女性陣が けとなりました。 けないと、前向きに考えるきっか けたと伺いました。 は」と躊躇しておりましたが、 しく立ち上げる時期ではないので げた自治会もあります。 新しく介護予防体操を立ち上 このコロナ禍にありなが 「今は新 担

感染防止策として、マスク着用

した。

の決

実施することにしま-9月30日に初めて洪水避難訓練を 豪雨災害が日本各地で発生してい に動けるのか等を検証するため、 地球温暖化の影響により、 法人の洪水避難計画どおり 毎年

なかで、 棟の部署の避難報告は内線連絡に、 まで運ぶ人手をどう確保したらい 利用者の避難と併せ、椅子を2階 険ではないのか」「デイサービスご する、といった見直しを行いました。 階の地域交流スペースの椅子を使用 デイサービスご利用者の椅子は2 めに別棟の事務室まで行くのは危 難行動計画を作成してもらいま. いのか」といった意見が寄せられま 訓練当日。 訓練にあたり各部署で当日の避 計画作成の段階で「激しい雨の それらの意見をふまえ、 避難完了の報告をするた 別

まってしまう。

2階入居者の生

ると2階の食堂がベッドで埋

1階入居者をベッドごと避難す

報及び避難準備・高齢者等避難開 20分程で避難を完了しました。 難行動計画に沿ってお互いに声を掛 始情報が入ったとの想定で訓練を開 け合い入居者、利用者の避難を進め 職員はそれぞれの避 行政より氾濫警戒情

・避難時の放送にエレベ訓練終了後の反省会では

内線が使える等の状況を伝えた タ や

貴重品や必要物品等、 何を持ち出しどこに置くのか検 していきたい 避難時に

感じる 動をどうすればいいのか不安をい。情報収集、避難の判断、行に入っており情報を収集しにく 夜勤帯は職員数が少なく、 現場

応できるようにしていきたいと思 を計画し、 題をふまえ、 今回の訓練を通じて出てきた課 活スペース確保も課題となる 様々な意見が出されました。 災害発生時に迅速に対 今後も洪水避難訓練

います。 (防火管理者 武田)





談し、 操もありますが、 生活でしたからちょっときつい体 操ですが、 なりました。椅子に座ってやる体 手指の消毒・室内の換気に努め「体 月下旬から、マスク着用・検温・ 何とかやれそうな目途が立ち、 員と地域包括支援センターとも相 運動が出来ないものかと自治会役 もぜひ図りたい」との思いから数 体を動かし、 運動を心がけていきたいと思って ていたので、これからも和気あい ば思考力も衰える一方だと皆感じ 人位で間隔をとり、規則を守れば 頃から「このままではいけない なかった。暖かくなり始めた5月 感染が怖い しゃっきり体操」がやれるように 人で話し合い、 心身共に健康であるために 密にならないために一回10 家に閉じこもらざるを得 何ヶ月も家にこもった 地域の方々との交流 自治会館で何とか 体を鍛えなけれ 8

ウィズ(with)コロナ

健康サークル 4

~坂井中団地自治会~

ます。を動かす事の大切さを痛感してい 明るくなります。 たねえ!」の短いことばでも心が となりますが「元気だった?」「ま 隔週の参加(開催は毎週火曜日) 密集・ 密接を防ぐため、 みんな一緒に体 現在は

りま-

した。

新型コロナウイ

ルス感

館に集まり、

楽しく活動をしてお

趣味の会も盛んで、会員が自治会

から閑古鳥が鳴く状態でした。

中止となり、 染症防止のため、

自治会館は2月中頃

すべての活動は

の朝。 る。

坂井中団地は自治会活動や

健康サ

クル4の始まった日

マスクの下から笑顔がはじけ

お久しぶり一

お元気でしたか?

遠藤

喜代乃







吉田様	ボランティアほなみ様	中島様	金子様	小田様	小田様	安達様	高橋様	鈴木様	白勢様	匿名希望	㈱よしや和田様	後藤様	〇ご寄付
70万円	10万円	10万円	10万円	10 万 円	10 万 円	10万円	5万円	5万円	5万円	1万円	1万円	1万円	

鷲尾様 天田様

○使い捨てマスク

㈱ファーストリテイリング様

ご有志様

佐森 掛様

ありがとうございました